



平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年5月11日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5333-8080
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	9,921	△8.0	7	△96.5	△37	—	△38	—
29年9月期第2四半期	10,791	0.0	221	—	194	—	175	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	△28.65	—
29年9月期第2四半期	132.28	—

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として普通株式について10株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	11,034	197	1.7	148.42
29年9月期	12,014	298	2.4	225.03

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 197百万円 29年9月期 298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△1.3	260	△35.2	160	△52.5	130	△56.8	97.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	1,328,219株	29年9月期	1,328,219株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	753株	29年9月期	627株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	1,327,536株	29年9月期2Q	1,327,592株

（注）平成29年4月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っており、これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、海外での貿易政策等の推移に注視する必要が生じてきているものの、新興国を含む世界経済全体の穏やかな景気回復が続き、国内企業の業況等も好調を維持し、国内消費の回復も穏やかに継続するなかで、第2四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商材である牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたものの、畜肉調製品の販売が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少し、鶏肉につきましても、ブラジル・タイからの輸入量が増加し、国内相場の下落が続いたことから取扱数量・売上高とも減少しました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移し取扱数量・売上高とも増加しました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は99億21百万円(前年同四半期累計期間比8.0%減)、営業利益7百万円(前年同四半期累計期間比96.5%減)、経常損失37百万円(前年同四半期累計期間は経常利益1億94百万円)、四半期純損失38百万円(前年同四半期累計期間は四半期純利益1億75百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(食料1部)

牛肉につきましては、外食産業向けに順調に販売できたことから取扱数量・売上高とも増加しましたが、ハム・ソーセージの原材料となる畜肉調製品につきましてもメーカー向け販売が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、20億82百万円(前年同四半期累計期間比15.9%減)となりました。

(食料2部)

鶏肉につきましては、ブラジル・タイからの輸入量増加による国内在庫の積み増しが続き、過剰感から販売価格が下落する中での営業となりましたことから取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、27億23百万円(前年同四半期累計期間比23.7%減)となりました。

(総合食品部)

畜肉等の加工食品につきましては、タイ産加工食品の外食産業向け販売は堅調に推移し、中国産加工食品につきましても需要が伸び始めてきていることから、加工食品全体として取扱数量・売上高とも増加しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、16億73百万円(前年同四半期累計期間比14.8%増)となりました。

(営業開拓部)

中国向け車輛部品・エンジンにつきましては、日本製への信頼から根強い需要があり、順調な引き合いに対応し続けたことから取扱数量・売上高とも増加しました。農産品につきましては、緑豆等の販売は順調に推移したものの大豆は価格が低迷したこと、玄蕎麦につきましても、顧客であるメーカーの生産が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少しました。化学品につきましては、販路も安定し、仕入先との連携も良好に機能し、韓国向けスマートフォン用塗料、その他海外向け塗料原料の販売が順調に推移したことから取扱数量・売上高とも順調に推移しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、21億89百万円(前年同四半期累計期間比29.6%増)となりました。

(生活産業部)

豚肉及び加工食品につきましては、加工食品ではコンビニ向けの韓国産のフランクフルトソーセージやメキシコ産のスライスカット豚肉等の販売は順調に推移したものの、スペイン産豚肉の輸入につきましては、価格等を考慮して年末時の現地からの船積を控えた対応の影響と、中国の需要が増えたことによる現地生産遅れとヨーロッパ海路の輸送コンテナ不足等の影響で、取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、12億53百万円(前年同四半期累計期間比21.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期累計期間末の資産につきましては現金及び預金が増加したものの、商品及び製品や売掛債権の減少等に伴い、前事業年度末に比べ9億80百万円減少し、110億34百万円となりました。

負債につきましては借入金及び仕入債務の減少等により前事業年度末に比べ8億79百万円減少し、108億37百万円となりました。

純資産につきましては、当四半期純利益の減少等により前事業年度末に比べ1億1百万円減少し1億97百万円となりました。自己資本比率は1.7%となり、前事業年度末に比べ0.7ポイント減少しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月14日公表の「平成29年9月 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,175,029	3,340,663
受取手形及び売掛金	4,548,265	3,378,138
商品及び製品	4,195,873	3,473,802
その他	426,979	174,916
貸倒引当金	△3,377	△2,390
流動資産合計	11,342,769	10,365,129
固定資産		
有形固定資産	293,014	290,968
無形固定資産	18,789	25,053
投資その他の資産		
その他	360,376	352,983
投資その他の資産合計	360,376	352,983
固定資産合計	672,179	669,005
資産合計	12,014,949	11,034,135
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,853,872	1,697,487
短期借入金	8,647,619	8,386,634
未払費用	640,633	362,954
その他	379,586	190,828
流動負債合計	11,521,713	10,637,904
固定負債		
退職給付引当金	142,431	148,494
その他	52,047	50,700
固定負債合計	194,479	199,195
負債合計	11,716,192	10,837,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,383,657	△2,421,704
自己株式	△852	△969
株主資本合計	267,382	229,218
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135	—
繰延ヘッジ損益	31,238	△32,183
評価・換算差額等合計	31,374	△32,183
純資産合計	298,756	197,035
負債純資産合計	12,014,949	11,034,135

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	10,791,028	9,921,909
売上原価	10,238,236	9,608,294
売上総利益	552,791	313,614
販売費及び一般管理費	331,038	305,923
営業利益	221,753	7,690
営業外収益		
受取利息	1,117	118
受取配当金	57	69
為替差益	10,774	—
受取賃貸料	6,166	5,961
投資事業組合運用益	2,817	872
その他	4,334	1,676
営業外収益合計	25,269	8,698
営業外費用		
支払利息	43,958	41,857
為替差損	—	6,400
その他	8,377	5,920
営業外費用合計	52,335	54,177
経常利益又は経常損失(△)	194,687	△37,788
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	194,687	△37,788
法人税、住民税及び事業税	21,311	1,067
法人税等調整額	△2,245	△808
法人税等合計	19,065	258
四半期純利益又は四半期純損失(△)	175,621	△38,047

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	194,687	△37,788
減価償却費	7,379	6,615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,187	△986
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△46,174	6,062
受取利息及び受取配当金	△1,175	△187
支払利息	43,958	41,857
為替差損益(△は益)	92	2,595
売上債権の増減額(△は増加)	△969,361	1,170,126
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,222	722,070
仕入債務の増減額(△は減少)	465,047	△156,385
前渡金の増減額(△は増加)	△52,233	239,605
未収消費税等の増減額(△は増加)	27,865	△19,268
未払費用の増減額(△は減少)	119,364	△277,094
その他	61,456	△168,544
小計	△124,682	1,528,678
利息及び配当金の受取額	1,175	187
利息の支払額	△41,565	△46,632
法人税等の支払額	△2,913	△38,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167,986	1,443,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△4,414
有形固定資産の売却による収入	—	462
投資事業組合からの分配による収入	3,900	1,850
無形固定資産の取得による支出	△3,888	△6,264
その他	948	3,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	960	△4,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△145,092	△260,985
長期借入金の返済による支出	△8,340	△10,063
自己株式の取得による支出	—	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,432	△271,164
現金及び現金同等物に係る換算差額	△92	△2,595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△320,551	1,165,633
現金及び現金同等物の期首残高	2,686,871	2,175,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,366,320	3,340,663

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料1部	食料2部	総合食品部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	2,479,300	3,570,595	1,456,878	1,688,785	1,595,467	—	10,791,028
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,479,300	3,570,595	1,456,878	1,688,785	1,595,467	—	10,791,028
セグメント利益又は 損失(△)	50,700	208,649	41,619	25,970	△6,482	△98,703	221,753

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△98,703千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料1部	食料2部	総合食品部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算 書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	2,082,682	2,723,027	1,673,638	2,189,284	1,253,275	—	9,921,909
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,082,682	2,723,027	1,673,638	2,189,284	1,253,275	—	9,921,909
セグメント利益又は 損失(△)	80,195	△81,029	86,486	46,893	△13,844	△111,009	7,690

(注)1.セグメント利益又は損失の調整額△111,009千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。